

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

発生予察情報について (送付)

病害虫発生予察注意報 (第 3 号) を下記のとおり発表したの送付いたします。

平成 27 年度 病害虫発生予察注意報 (第 3 号)

平成 27 年 8 月 20 日

愛 媛 県

病害虫名 いもち病(穂いもち)

作物 水 稲 (普通期栽培)

1 発生地域 県下全域

2 発生程度 やや多～多

3 注意報発表の根拠

- (1) 8 月の第 3 半旬～第 4 半旬に実施した定点調査の結果、普通期水稻の葉いもち発生ほ場率は 68.4% と平年 (15.0%) より高く、広範囲で発病が確認される (第 1 表参照)。なお、発生ほ場内では下位葉に停止型病斑が散見されている状態にある。
- (2) BLASTAM (葉いもち発生推定指標) によると、8 月第 3 半旬頃に県下で感染好適日、準感染好適日 (感染好適日が連続して出現する時は多発条件となる) が広範囲で推定され、病勢の進展が予想される (第 2 表参照)。
- (3) 作付けが増加している中生品種の ‘にこまる’ は、いもち病のほ場抵抗性はやや弱とされている。
- (4) 四国地方の 1 か月予報 (8 月 13 日高松气象台発表) では、平年に比べ、気温は高く、降水量は平年並か多く、晴れの日が少ないとされていることから発病にはやや助長的である。

4 防除上の注意

- (1) 葉いもちが上位葉で見られるほ場では、出穂直前の防除を実施し、穂揃期に追加防除を行う。
- (2) 葉いもちの発生が少ないほ場でも、出穂期の天候不順により穂いもちが多発する場合がありますので出穂期の防除は必ず実施する。
- (3) 出穂期以降も不順な天候が継続する場合には出穂 10～15 日の防除 (仕上げ防除) 時にいもち病に効果のある薬剤を追加する。
- (4) 薬剤は県防除指針や地域の防除暦を参照し、使用回数、使用時期、使用量、使用方法等の使用基準を遵守して散布する。

第1表 定点調査における水稻 (普通期栽培) の葉いもちの発生状況

調査時期	発生ほ場率 (%)	平均発病度
平成27年	68.4	2.34
平 年	15.0	0.53

注) 任意の100株の発病状況を調査。

平年は平成17～26年の調査結果の平均値。

第2表 BLASTAMによる葉いもち感染好適日の推定結果

	8/01	8/02	8/03	8/04	8/05	8/06	8/07	8/08	8/09	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18
大三島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
今治	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-
西条	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-
新居浜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
四国中央	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
松山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
松山南吉田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
久万	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	●	●	-	-	-	4
大洲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
瀬戸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宇和	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●
宇和島	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-
近永	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
御荘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

発生指標					
-: 好適条件なし	1: 準好適条件	2: 準好適条件	3: 準好適条件	4: 準好適条件	●: 好適条件